



## 平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月7日

上場会社名 第一精工株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6640 URL <http://www.daiichi-seiko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小西 英樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長兼財務統括部長 (氏名) 田籠 康利 TEL 075-611-7155  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日 配当支払開始予定日 平成27年9月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績 (平成27年1月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	23,263	5.8	462	△44.1	859	14.5	468	34.7
26年12月期第2四半期	21,993	12.6	828	—	750	0.5	347	△32.4

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 414百万円 (—%) 26年12月期第2四半期 △325百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	27.99	—
26年12月期第2四半期	20.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第2四半期	60,072	45,253	75.2
26年12月期	58,860	45,006	76.4

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 45,200百万円 26年12月期 44,957百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	5.00	—	10.00	15.00
27年12月期	—	5.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年12月期の連結業績予想 (平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,500	8.5	2,800	32.7	3,100	0.0	2,000	60.4	119.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期2Q	16,722,800株	26年12月期	16,722,800株
② 期末自己株式数	27年12月期2Q	114株	26年12月期	114株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期2Q	16,722,686株	26年12月期2Q	16,722,686株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている連結業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、実際の業績等は様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。

なお、業績予想の前提条件等につきましては、[添付資料] P2 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P 2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	P 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	P 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	P 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	P 3
3. 四半期連結財務諸表 .....	P 4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P 6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	P 6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	P 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P 8
(継続企業の前提に関する注記) .....	P 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では悪天候による一時的な低迷を乗り越え雇用が復調に向かい、また、高水準にある消費者マインドに支えられ個人消費が底堅さを示すなど、景気は堅調に推移しました。さらに、大幅な拡大は見られないものの内需の好調を中心として欧州の景気も回復傾向を維持しており、先進国経済は概ね順調に推移しました。一方、中国やその他新興国の経済は依然として成長鈍化の傾向が続いており、全体として緩やかな景気回復にとどまりました。

わが国経済は、企業収益の拡大及び雇用情勢の改善等を背景に、設備投資や個人消費に緩やかな回復傾向がみられましたが、中国経済の減速等を受け、拡大が続いていた輸出や企業生産に一服感がみられるなど、景気持ち直しの動きは力強さを欠くものとなりました。

このような経済環境の中で当社グループの電気・電子部品事業は、中国市場を筆頭にスマートフォン需要が減速したことを受けて、それらに使用されるアンテナ用超小型RF同軸コネクタは、受注が想定より伸びず低迷しました。細線同軸コネクタは、主要用途であるノートパソコンの販売が伸び悩む中、パネル向けに加え、新たな分野への拡販に努めたことから堅調に推移しました。FPC/FFCコネクタ関連は、製品ラインナップを拡充し販売促進に努めた結果、液晶パネル向け等への採用が進みました。また、HDD関連部品は、パソコン向け需要の減速等もありHDDの生産が振るわず、RAMP等の機構部品が伸び悩みました。

自動車部品事業は、北米市場を中心に自動車販売が堅調に推移していることに加え、自動車の電装化が進展していることを背景に電装部品の需要が増加傾向であることから、車載用センサをはじめ、LEDヘッドライト等を使用されるコネクタや各種電子制御向けコネクタ等が伸長しました。

設備事業は、パソコン販売の低迷や中国スマートフォンの減速を受けて、半導体メーカーや後工程受託会社の設備投資は慎重な姿勢を色濃くする形になりましたが、半導体樹脂封止装置関連の販売は概ね堅調に推移しました。また、自動テープ貼付機の需要も好調を維持しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は23,263百万円（前年同四半期比5.8%増）、営業利益462百万円（前年同四半期比44.1%減）、経常利益859百万円（前年同四半期比14.5%増）、四半期純利益468百万円（前年同四半期比34.7%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して1,211百万円増加し、60,072百万円となりました。

主な増加要因は、建設仮勘定2,174百万円等であり、主な減少要因は、受取手形及び売掛金833百万円等であります。

負債につきましては、964百万円増加の14,819百万円となり、主な増加要因は、賞与引当金1,067百万円等であり、主な減少要因は、短期借入金202百万円等であります。

純資産につきましては、為替レート変動の影響による為替換算調整勘定の減少44百万円等がありましたが、四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加300百万円等により247百万円増加し、45,253百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月8日に公表しました通期の連結業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,440,383	15,870,059
受取手形及び売掛金	10,224,904	9,391,528
製品	4,195,397	4,238,536
仕掛品	2,083,620	1,663,433
原材料及び貯蔵品	1,441,756	1,410,645
繰延税金資産	410,959	408,860
その他	781,619	813,948
貸倒引当金	△16,289	△9,515
流動資産合計	34,562,351	33,787,498
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,526,775	11,739,721
減価償却累計額	△7,230,988	△7,452,158
建物及び構築物 (純額)	4,295,787	4,287,562
機械装置及び運搬具	29,615,528	30,764,872
減価償却累計額	△20,484,497	△21,666,686
機械装置及び運搬具 (純額)	9,131,031	9,098,185
工具、器具及び備品	21,369,645	21,997,862
減価償却累計額	△18,664,159	△19,471,582
工具、器具及び備品 (純額)	2,705,485	2,526,280
土地	3,493,028	3,483,037
建設仮勘定	3,622,134	5,796,469
有形固定資産合計	23,247,467	25,191,535
無形固定資産		
その他	300,163	430,031
無形固定資産合計	300,163	430,031
投資その他の資産		
繰延税金資産	8,826	1,596
その他	777,275	692,805
貸倒引当金	△35,206	△30,822
投資その他の資産合計	750,895	663,579
固定資産合計	24,298,526	26,285,145
資産合計	58,860,878	60,072,643

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,027,060	2,246,799
短期借入金	3,321,326	3,118,692
未払法人税等	1,361,565	1,330,373
賞与引当金	623,071	1,690,344
その他	2,460,801	2,170,745
流動負債合計	9,793,826	10,556,955
固定負債		
長期借入金	1,931,588	2,153,944
繰延税金負債	1,105,046	999,860
役員退職慰労引当金	211,640	237,600
退職給付に係る負債	342,380	358,951
その他	470,210	511,900
固定負債合計	4,060,866	4,262,256
負債合計	13,854,692	14,819,212
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,522,690	8,522,690
資本剰余金	8,046,966	8,046,966
利益剰余金	25,619,700	25,920,607
自己株式	△371	△371
株主資本合計	42,188,984	42,489,892
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,039	36,843
為替換算調整勘定	2,553,604	2,508,643
退職給付に係る調整累計額	187,379	165,461
その他の包括利益累計額合計	2,768,023	2,710,949
少数株主持分	49,177	52,590
純資産合計	45,006,186	45,253,431
負債純資産合計	58,860,878	60,072,643

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	21,993,847	23,263,424
売上原価	16,051,176	16,999,999
売上総利益	5,942,671	6,263,425
販売費及び一般管理費	5,114,253	5,800,670
営業利益	828,417	462,754
営業外収益		
受取利息及び配当金	17,726	28,109
為替差益	—	83,294
助成金収入	245,834	287,986
その他	26,968	40,767
営業外収益合計	290,528	440,157
営業外費用		
支払利息	35,586	29,895
為替差損	298,967	—
その他	34,068	13,572
営業外費用合計	368,621	43,467
経常利益	750,323	859,443
税金等調整前四半期純利益	750,323	859,443
法人税、住民税及び事業税	349,178	478,258
法人税等調整額	52,481	△90,451
法人税等合計	401,659	387,807
少数株主損益調整前四半期純利益	348,664	471,636
少数株主利益	1,219	3,502
四半期純利益	347,445	468,134

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	348,664	471,636
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,591	9,804
為替換算調整勘定	△632,618	△44,882
退職給付に係る調整額	△21,369	△21,918
その他の包括利益合計	△674,578	△56,996
四半期包括利益	△325,913	414,640
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△326,724	411,059
少数株主に係る四半期包括利益	810	3,580

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。